

# 市民アンケート結果

市民・事業者の皆さんの環境への関心や、環境への取り組みの現状を把握するために、平成23年2月にアンケート調査を行いました（第1次アンケート）。

しかし、そのすぐ後の3月、東北・関東、長野県北部などで相次いで大きな地震災害が発生し、原子力発電所の事故も発生しました。このような状況において、市民の皆さんの環境に対する意識も大きく変わることが予想されたことから、同年8月、原子力や放射能問題に関する設問の追加など、2月のアンケート内容を一部修正し、再度アンケート調査を実施しました（第2次アンケート）。

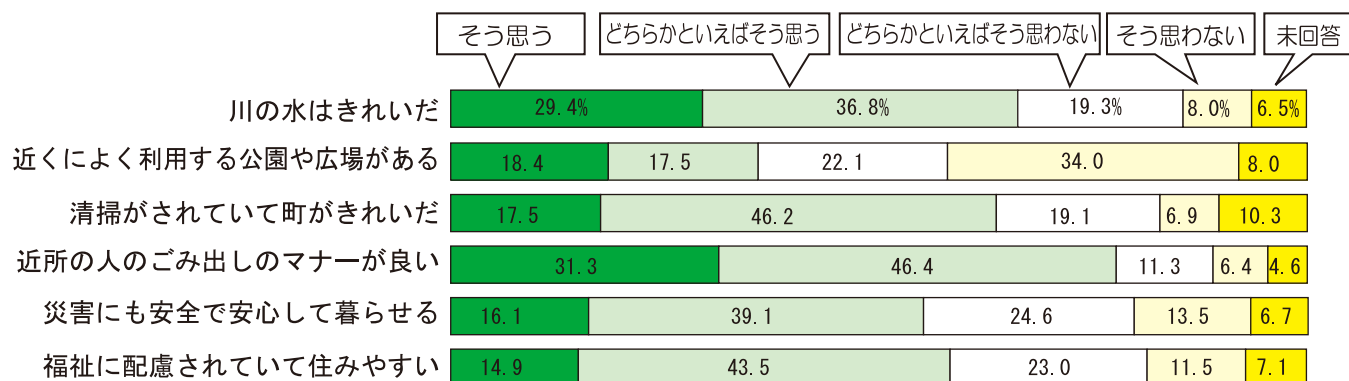
また次代を担う若い世代の意識把握を目的に、市内の中学生を対象としたアンケート調査を同年10月に実施しました（中学生アンケート）。

ここでアンケート集計結果の一部をご紹介します。

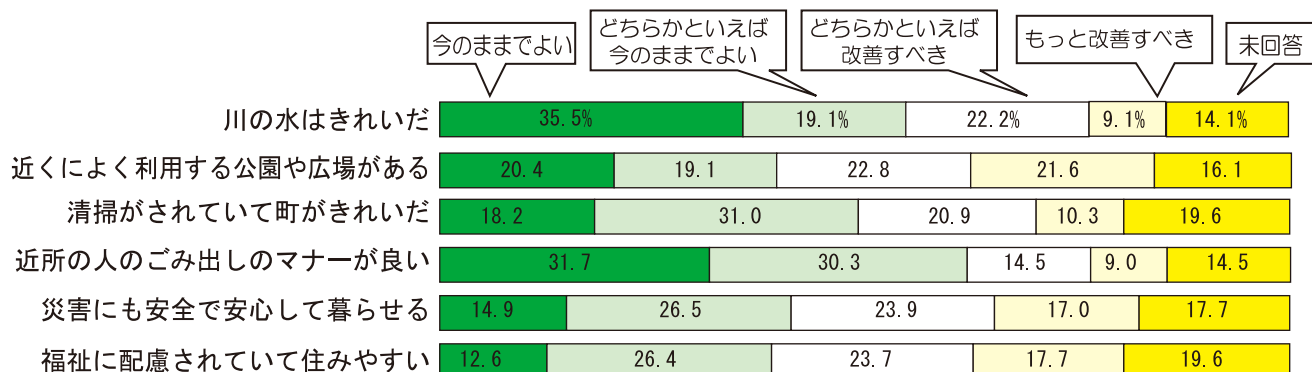
## 調査対象・回答率

- ①第1次アンケート（平成23年2月実施）
  - ・無作為に抽出した市内在住の20歳以上の市民1000人（回答率：43.4%）
  - ・無作為に抽出した市内100の事業所（回答率：46.0%）
- ②第2次アンケート（平成23年8月実施）
  - ・無作為に抽出した市内在住の20歳以上の市民500人（回答率37.6%）
- ③中学生アンケート（平成23年10月実施）
  - ・飯山市立城北中学校及び城南中学校生徒160人（回答率85.0%）

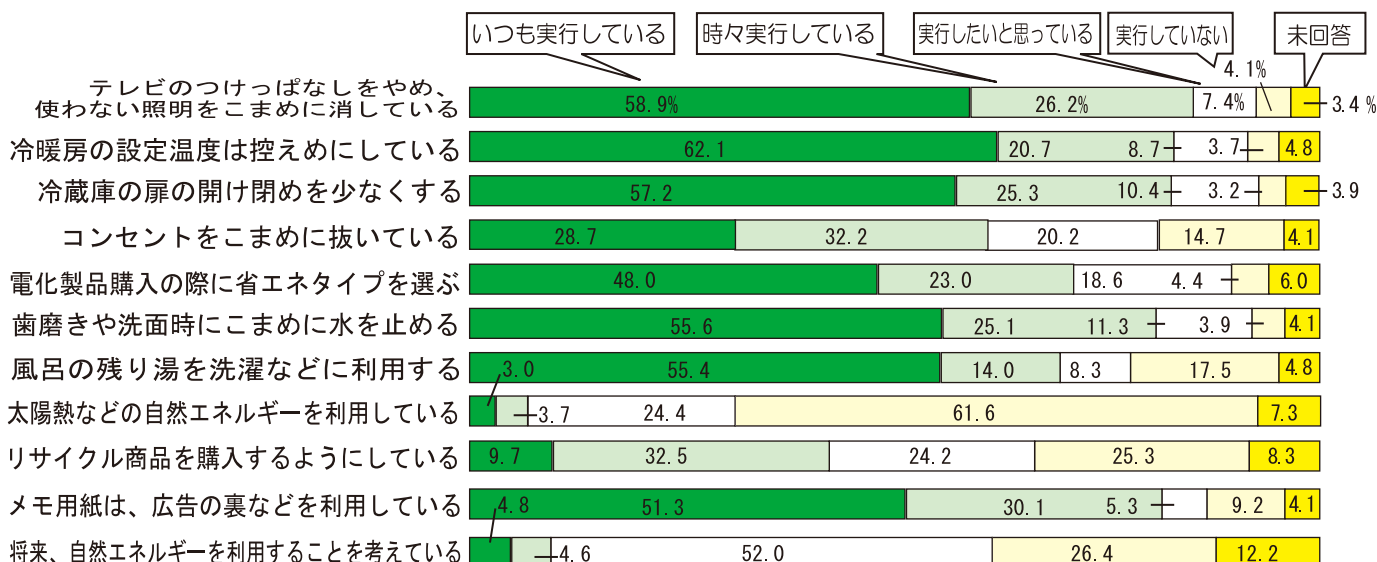
## 飯山市の環境の「現状」についてどのように感じていますか。（第1次アンケート結果）



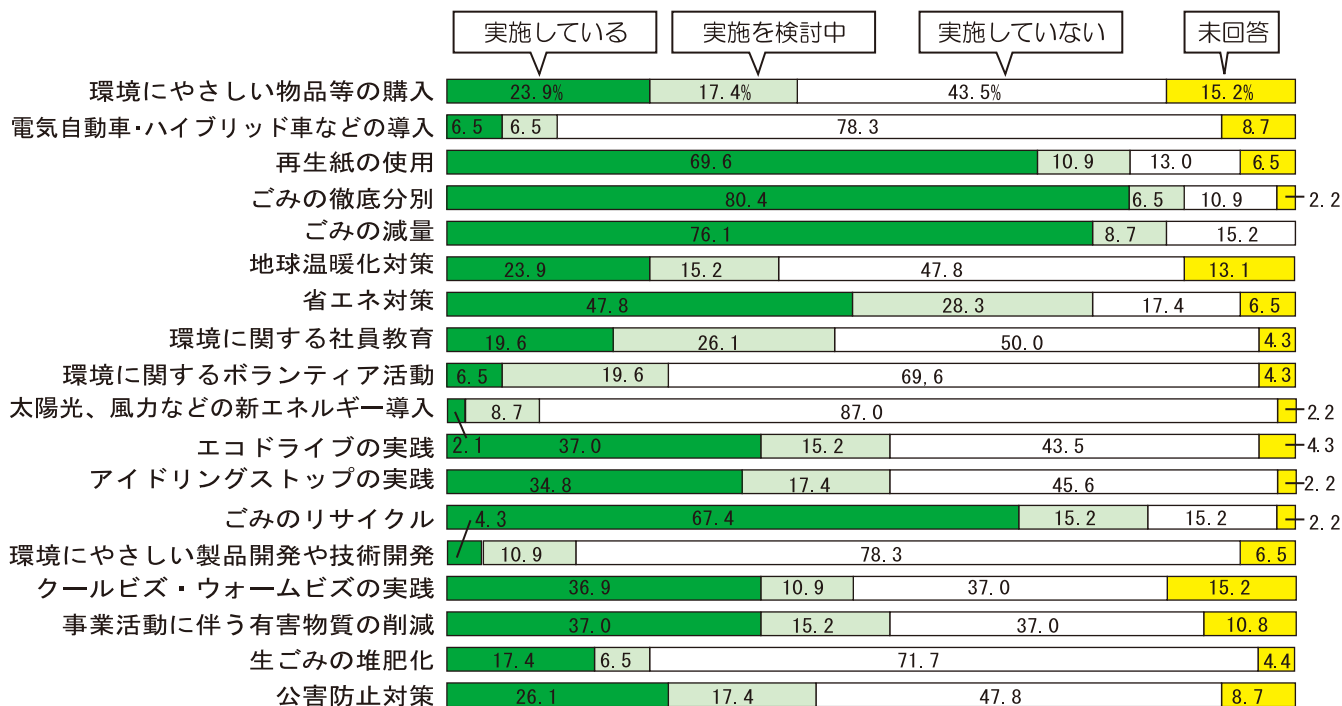
## 飯山市の環境の「将来」についてどのように感じていますか。（第1次アンケート結果）



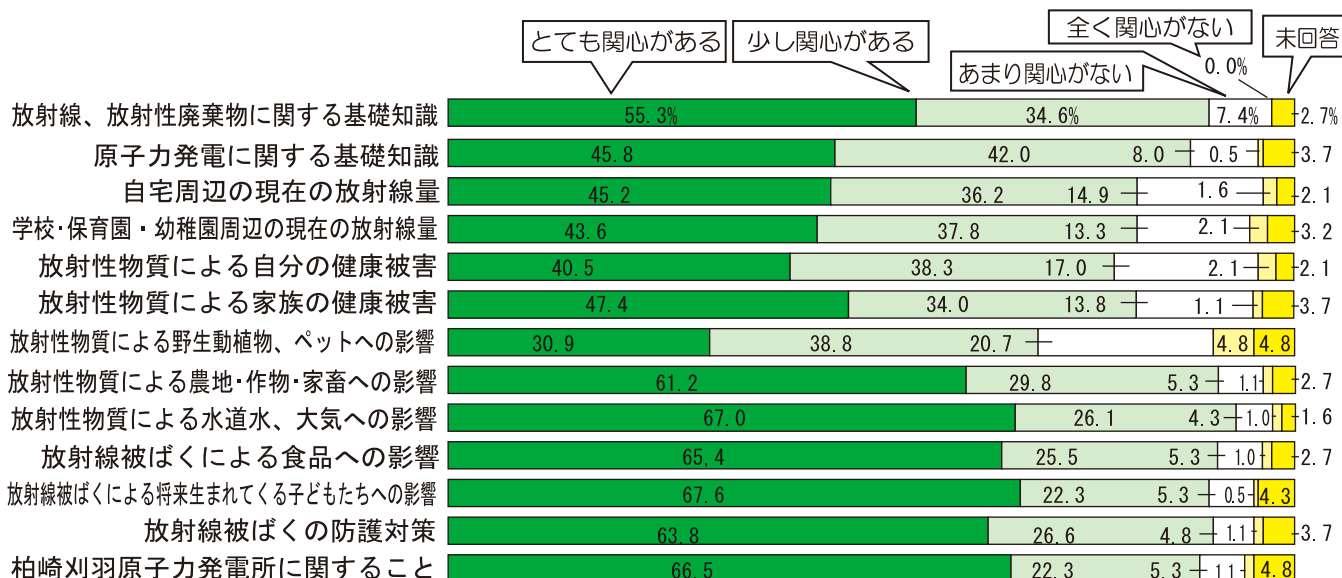
## あなたが環境のために実行していることは何ですか。（第1次アンケート結果）



## 環境に配慮している事項は何ですか。（事業者アンケート結果）



## あなたが放射能問題について関心がある事は何ですか。（複数回答、第2次アンケート結果）



## 自由意見（一部を抜粋）

### ●ごみ・資源、自然環境、生活環境について（第1次アンケート）

- ・生ゴミダンボール堆肥化等モデル地区を聞いているが、成果あったのだろうか。推進していたことは知っているが、その成果について一般市民は知らない。
- ・冬場、ゴミの収集場所が遠いため、高齢者はゴミ出しが困難。地域でサポートする工夫ができればと思う。
- ・ごみの有料化には反対。近所ではそれでなくても市のごみ減量化に協力しているという理由で畑に穴を掘ってごみを燃やしている家も多い。
- ・子どもと一緒に資源物の分別をすると、子どもも協力してやってくれるようになった。
- ・水田等の基盤整備が進み身近な水路等がコンクリートとなり、身近な水生動物が見えなくなった。どこか一定の所に復元できないか。
- ・里山を大事に保全し、人間と動物が共生できる環境が望ましい。
- ・飯山は車が無いと生活が不便であるが、自家用車の増加で排気ガスによる大気汚染が心配なため、公共交通を充実させてほしい。
- ・豪雪こそ飯山の個性なので、それをもっと環境に利用できるようなアイデアが欲しい。
- ・犬の糞の放置に迷惑している。自分も犬を飼っているが、同じ愛犬家としてとても恥ずかしく、同じ様な目で見られることが不愉快で情けない。

### ●農業、景観、その他について（第1次アンケート）

- ・荒廃農地の有効活用、農業を始める人へのバックアップ、有害鳥獣対策が必要と思う。
- ・農業等で出るゴミ（野焼き、アスパラ等の残茎）を環境を気にしながら処理するのがつらい。家族、地域全体の協力が必要。
- ・都市化が進み新幹線の高架橋やトンネル工事も進んでいる。便利でありがたい半面、子どもの頃見ていた景色がどんどん変化していくことに寂しさを感じる。
- ・地域の人々が集まる場所、たとえばお寺や神社、城を整備したり、伝統ある工芸品などの活性化に力を入れて取り組むべきと思う。

### ●放射能問題について関心があること、対応すべきと思うこと（第2次、中学生アンケート）

- ・農作物の放射線量の測定・公表（飯山近隣地域）。
- ・放射能の影響は子どもが受けやすく、10年、20年先に症状が出ると聞き不安。子どもを守る学校、保育園、幼稚園には出来るだけ情報開示してほしい（敷地内の放射線量や給食で扱う食品の産地等）。
- ・小水力発電への補助等、身近なところに期待したい。飯山では冬期の太陽光は厳しい為。
- ・将来原子力発電が危険になりすぎて使用しなくなった場合、どのようにして発電を行っていくのか。一度震災で原発の放射線の影響を受け原発の恐ろしさを知ったのに、どうして新しい原発を建てようなどという意見が出ているのか。（中学生アンケート）
- ・刈羽原発が福島のような場合、飯山市ではどのような対応が出来るのか。訓練や、市・地区ごとに大規模な訓練、情報交換、区長などの対応等、マニュアルだけではなく、実際に本当に問題がなく対応できるのかなどをやってみるべきではないかと思う。

### ●震災後に意識が変わったこと（第2次アンケート）

- ・節電はもとより、すべての物を大切に生かして使うようにしている。生活を切りつめ寄付をする努力をしている。また地震や原発、環境について本等で学習するようになった。
- ・防災グッズを用意したいと思う。懐中電灯はそばに置いた。以前ほどではないが、トラウマ状態がまだ残っている。
- ・当たり前だと思っていた事に、感謝できるようになった事。
- ・いかに電気エネルギーに依存していたか痛感した。
- ・水、電気、ガスなどの貴重さを実感し、無駄な浪費は控えようという意識が変わった。
- ・食品の安全性について、家族のことも考えて、以前よりも買い物等には気をつけている。
- ・地震の大きさ、被害の大きさを出来るだけ子どもたちには話している
- ・家族で緊急時の避難場所を再確認した。原発に関する意識が大幅に高まった。節電意識が、より高まった。